

よりよいこれからの生き方をお考えの方に

Vol.110

夏日号

2021年7月15日

この冊子はエデンの園ゆかり会
会員の方に年4回お届けしています。

ゆかり通信

社会福祉法人 聖隷福祉事業団 高齢者公益事業部 **エデンの園** 「ゆかり会」情報誌

特集

聖隷藤沢ウェルフェアタウン10周年
藤沢エデンの園

人 interview

藤沢エデンの園 運営管理課
総務担当

鈴木 俊也

食 エデンの食卓
全国味めぐりの旅

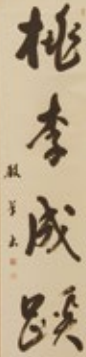
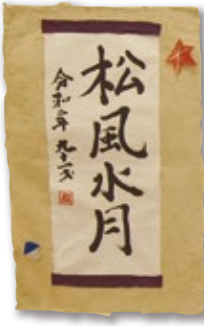
住 エデンの暮らし
周辺おさんぽマップ



入居者作品集



※誌面の作品は一例となります



ラインで人と人が触れ合う機会を作った。緊急事態宣言下で直接会えない入居者の家族のために、タブレット端末を使用したビデオ面会を実施。今年の4月から、入居者の居室のテレビに映像を写す映像配信システムも導入した。開園祭では、鈴木さんを含めた10周年プロジェクトのメンバーが中心となり藤沢市内の高校生による演奏会を配信。「ボランティアの来園も制限しているので、少しでも楽しんでもらえれば」と鈴木さん。

入居者の絵画や写真、陶芸作品などを披露する作品展も、ご家族を含め外部の方の来園は自粛をお願いしたが、「家族や友人に作品を見てもらえないのは寂しい」と感じた鈴木さんは、他の職員と協力して全作品58点の写真を撮影した作品集を作り、希望者に配った。「せっかくなのでできるだけいい状態で見せられるようにしたかった」と撮影方法を試行錯誤し、短期間で作品集を完成させた。入居者と直接関わることの少ない総務担当者も、入居者のために労を惜しまず自ら行動する。聖隷福祉事業団が掲げる基本理念「隣人愛」が、職員全体に浸透している。

**どんなに忙しくても心掛ける
「この人に聞いて良かった」**

エデンの園に来て、複数同時進行の業務への対応力が上がったという鈴木さん。前職よりも求められる仕事の量とスピードのレベルが高く、経験を重ねることにできる仕事が増えていった。その中で一番心

interview
エデンで働く人

「すべての人の
拠り所に」
園全体を支える気配りの対応

エデンの園には、入居者と直接関わる介護職や生活サービスの職員だけでなく、職員の採用や総務、経理を担当する職員がいる。「藤沢エデンの園」の運営に携わる運営管理課の鈴木さんは入社4年目。どんな思いで仕事に向き合い、園全体を支えているのか話を聞いた。



藤沢エデンの園 運営管理課 総務担当 鈴木 俊也 (29歳)



ビデオ面会の様子



外国人スタッフの拠り所
日本での生活をサポート

鈴木さんが働く「聖隷藤沢ウエルフェアタウン」には、住宅型有料老人ホーム「藤沢エデンの園（一番館）」をはじめ、デイサービスや訪問看護など、全部で7つの事業所がある。採用を担当した入職当時は、各事業所の内容や職種を覚えるのに苦労したという。それだけ多くの職員が、この高齢者複合施設を支えているのだ。現在は主に給与計算を担当しているが、EPA（注1）で来日する外国人スタッフのサポートも鈴木さんの仕事の一つ。藤沢エデンの園で働く外国人スタッフ5名全員と連絡先を交換し、困った時はいつでも相談できるようにしている。「年金事務所からハガキがきても何のことかわからない。異国での生活は想像以上に難しいと思います」と、生活全般の困りごとにも対応する。「大変だとは思いません。期待にこたえられた喜びの方が大きいですから」と、昔から困っている人がいたら助ける性分の鈴木さんは、少しでも自分が拠り所になればと相談を歓迎する。「これからは海外からの受け入れが当たり前になってくる。EPAで来日する若い人材が道を切り開いてくれます」と将来も見据えている。

コロナ禍でも楽しんでほしい
全職員共通の願い

新型コロナウイルス感染症の影響が1年以上続き、人が集まることが減少する中、運営管理課はオンラインで人と人が触れ合う機会を作った。緊急事態宣言下で直接会えない入居者の家族のために、タブレット端末を使用したビデオ面会を実施。今年の4月から、入居者の居室のテレビに映像を写す映像配信システムも導入した。開園祭では、鈴木さんを含めた10周年プロジェクトのメンバーが中心となり藤沢市内の高校生による演奏会を配信。「ボランティアの来園も制限しているので、少しでも楽しんでもらえれば」と鈴木さん。

入居者の絵画や写真、陶芸作品などを披露する作品展も、ご家族を含め外部の方の来園は自粛をお願いしたが、「家族や友人に作品を見てもらえないのは寂しい」と感じた鈴木さんは、他の職員と協力して全作品58点の写真を撮影した作品集を作り、希望者に配った。「せっかくなのでできるだけいい状態で見せられるようにしたかった」と撮影方法を試行錯誤し、短期間で作品集を完成させた。入居者と直接関わることの少ない総務担当者も、入居者のために労を惜しまず自ら行動する。聖隷福祉事業団が掲げる基本理念「隣人愛」が、職員全体に浸透している。

掛けていることは「自分がどんなに忙しくても、何かかわらなくて聞きに来た職員にしっかりと対応すること」だ。「総務担当である私にとっては職員もお客様です。この人に聞いて良かった、働きやすいと思ってもらえる声掛けや対応を大切にしています」。多くの職員が働く「聖隷藤沢ウエルフェアタウン」には、施設全体に気を配る鈴木さんの様な職員が欠かれない。職員が不安なく気持ちよく働いてこそ、高齢者が安心して生活できる環境を提供できるのだ。

私生活では昨年父親になり、「何かできることがあれば自分がやるよ」と妻によく声掛けするという鈴木さん。料理が趣味で、最近は自作のお弁当を持参している。少しでも助けに、少しでも喜んでもらいたい。職場でも家庭でも、そのスタンスは変わらない。

（注1）EPA：経済連携協定（Economic Partnership Agreement）。特定の国や地域の間で、関税等を撤廃し、モノやサービスの貿易の自由化を図ることを目的とする「自由貿易協定（FTA）」を基礎としながら、投資や人の移動、知的所有権など、より幅広い対象分野について、経済関係の強化を図ることを目的とする協定。

聖隷福祉事業団では、2009年にEPAによりフィリピン等から職員受け入れを開始し、2021年5月現在までに122名を受入れています。2010年には、静岡県内の受け入れ法人間で連携し、EPA介護福祉士候補者として来日した職員の支援を行う「ふじのくにEPAネットワーク」を発足。将来を見据え、EPAを通じて外国人職員の育成に力を入れています。

※2020年以降は新型コロナウイルス感染症の影響で一部の候補者は来日時期を調整中です。

食 エデンの食卓 Eden's table



愛媛 味めぐりの日

夕食

- 愛媛宇和海直送鮮魚(煮魚)
- 愛媛名物「芋たき」
- もやしの辛し和え
- 清まし汁(じゃこ天)
- 坊ちゃん団子 ●ごはん



食事サービス課課長 上村直人

藤沢エデンの園では、開園10周年記念企画のひとつとして1年間で全国の名物料理を食べて巡る「全国味めぐりの旅」をスタートした。メニューを考えるのは3人の管理栄養士。松山・宝塚エデンの園を経て今年から藤沢に着任したエデンの園職務歴18年の上村さんは「全国ご当地食の企画は今までも各地のエデンの園でやっていましたが、全道府県を網羅したことはありません。コロナ禍で外出もままならない中、少しでも旅行気分を味わってほしい」と全国制覇に意欲を見せる。第二弾の「愛媛味めぐり」では、松山の業者から新鮮な魚とじゃこ天を仕入れ本場の味を再現。銘菓の坊ちゃん団子も用意した。5月は、長崎、高知、沖縄、兵庫の味を巡った。皿うどん、かつおのたたき、ゴーヤチャンプルと名前を聞いただけで土地の名前が浮かぶ。兵庫の味「ぼっかけオムレット」は宝塚エデンの園でも好評だった。牛スジを煮込んだ地元料理のアレンジメニューだ。「朝起きて今日は何かなど、1日の楽しみをメニュー表で提供したい」と上村さん。さて今月は、どこの都道府県に行けるかな。

着任のご挨拶



聖隷藤沢ウエルフェアタウン 総園長兼
藤沢エデンの園 一番館園長
わか の とも よし
若野 倫義



2021年4月1日付で聖隷藤沢ウエルフェアタウン総園長ならびに藤沢エデンの園一番館園長に着任いたしました若野倫義と申します。聖隷福祉事業団に入職後、聖隷三方原病院、聖隷浜松病院などの勤務を経て、2年前より藤沢エデンの園一番館の副園長を務めてまいりました。今後、法人の基本理念であります「隣人愛」のもと施設運営を行って参りますのでよろしくお願いいたします。

聖隷藤沢ウエルフェアタウンは、有料老人ホーム「藤沢エデンの園」だけではなく、特別養護老人ホーム「藤沢愛光園」やデイサービスなどの在宅部門との複合施設として2011年にオープンいたしました。質の高い住居とケアの機能を併せ持った施設といえます。このような複合施設としてのメリットを活かして、皆さまが今後も継続して「安全・安心」に暮らしていただける藤沢エデンの園にしていききたいと考えております。

また、今年度、聖隷藤沢ウエルフェアタウンは開設10周年を迎えました。ここ藤沢の地で、ご入居者、ご利用者の皆さまのご協力をいただきながら節目の年を迎えられたことを大変嬉しく思っております。今後も、より良い藤沢エデンの園を実現するために、精いっぱい努めさせていただきます。ゆかり会員の皆さまもぜひご来園ください。

高齢者複合施設「聖隷藤沢ウェルフェアタウン」

地域に貢献する「聖隷藤沢ウェルフェアタウン」の介護保険の各事業所は、住宅型有料老人ホームである一番館にお住まいのご入居者にとって頼もしい味方です！ここでは、「藤沢エデンの園 一番館」で介護サービスが必要になった場合の流れを紹介します。



お元気な時(一時的な体調不良等)

藤沢エデンの園 一番館 生活サービス課
生活支援サービス^(※)

(※)生活支援サービスとは…

体調不良時等に、自立した生活を継続するために園が提供するサービスです。あくまでも一時的に支援が必要になった場合のサービスです。

一番館での生活支援サービス^(※)が日常的に必要なになったら 居宅介護支援



連携① 聖隷ケアプランセンター

一番館で生活上の支援が必要になった場合、介護保険在宅サービスをご利用いただけます。
一番館の居室で、できるだけ自立した生活を送れるように、ケアマネージャーがケアプラン(介護サービス計画書)を作成します。
介護認定の申請は生活サービス課がお手伝いします。

ケアマネージャーの役割

- 状態の確認や希望サービスのお伺い
- ケアプランの作成
- サービス担当者会議

サービス担当者会議とは…
ケアマネージャーが作成したケアプランの内容を各サービス担当者が集まり、より良いサービスを提供するため意見を出し合い情報共有をする会議です。

介護保険在宅サービスの提供

訪問看護・介護

連携② 聖隷ヘルパーステーション藤沢

お部屋へ訪問介護員(ホームヘルパー)が訪問し、自立した日常生活が送れるよう掃除・洗濯・入浴介助などのサポートを行います。

連携③ 聖隷訪問看護ステーション藤沢

お部屋へ看護師などが訪問し、主治医の指示や連携のもと、療養の支援や治療の補助・医療処置などを行います。



地域の方にも支援を行っています

通所介護

連携④ 聖隷デイサービスセンター藤沢

同じ建物内にあるので、天候に左右されずに、機能訓練、食事、入浴、レクリエーションなどをご利用いただけます。
介護予防に力を入れており、多様なリハビリ機器を導入しています。機能訓練指導員を配置し、個別機能訓練を行っています。



24時間
365日
看護・介護
職員常駐

上記の介護保険在宅サービスでは生活が困難になり、24時間介護のサポートが必要になったら

介護付有料老人ホーム 藤沢エデンの園 二番館 への住み替え

藤沢ウェルフェアタウンでは、日頃から、一番館と二番館、更には訪問看護、ヘルパーステーション、ケアプランセンターのスタッフが適宜、情報交換をしています。
定期的で開催している検討会でも、介護保険を利用されているご入居者の健康状態やお悩みなどの最新情報を共有しています。
ご入居者お一人おひとりの生活に合わせたきめ細やかなサービスのご提案とご提供に努めています。



歴史と豊かな自然が楽しめる街 「湘南ライフタウン」

藤沢エデンの園

周辺おさんぽマップ

藤沢エデンの園の周辺には多くの公園や緑があります。
気軽に散歩に出かけられるため、ご入居者もよく足を運んでいます。
四季折々の景色を楽しみながら健康な体づくりができます。



1 二番構公園

園から
片道徒歩
1分

住宅街の中にいるのを忘れてしまうほど、とても静かで落ち着いた雰囲気のパークです。自然石を配した緑豊かな散策路のほか、噴水や水路があり“水の流れる公園”として親しまれています。藤沢エデンの園を出てすぐの場所にあり、気軽に自然を楽しむことができます。



2 大庭裏門公園

園から
片道徒歩
5分

もともと遊水地だった場所に野鳥が集まり、現在の公園として整備された2.7ヘクタールの広さを誇る野鳥観察公園です。中に入ることはできませんが、歩道沿いの壁穴から遊水地内の野鳥を観察できるように望遠鏡が設置されています。



3 大庭城址公園

園から
片道徒歩
20分

平安時代から戦国時代まで存在した大庭城跡地に作られた自然豊かな公園です。園内には芝生広場が広がり、季節ごとに装いを変える木々や草花が植栽されています。春には桜の名所として地元の方に親しまれています。



4 引地川親水公園

園から
片道徒歩
30分

引地川沿いにある、湿植物や藤棚、ツツジの丘、桜並木などがきれいに整備された公園です。芝生広場は憩いの場として市民に親しまれています。水とじかに触れあうことのできる親水広場や水と石の広場などもあり、子供から大人まで楽しむことができます。

